

## 審議会等の会議の記録

会議の名称	第2回伊勢崎市スポーツ推進審議会
開催日時	令和2年10月30日(金) 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	華蔵寺運動施設管理事務所会議室
出席者氏名	(委員) 小野里会長、反町委員、中野委員、大賀委員、狩野委員、長岡委員、増茂委員、結城委員、齊藤委員、清水委員、平林委員 (事務局) 勅使川原健康推進部長、今井健康推進部副部長、星野スポーツ振興課長、笹間スポーツ振興係長、中島施設管理係長、金井係長代理、湯本主査、村岡主任、樋口主事
傍聴人数	0人
会議の議題	(1) 伊勢崎市民プールのあり方について (2) コロナ禍におけるスポーツイベントのあり方について
会議資料の内容	(1) 会議次第 (2) 伊勢崎市スポーツ施設個別施設計画(伊勢崎市民プール) (3) 伊勢崎市民プールについての写真 (4) 市営プール施設の現状 (5) 令和2年度市主催関係スポーツイベントの開催状況
会議における議事の経過及び発言の要旨	1 自己紹介 2 開会 3 挨拶 4 議事  (1) 伊勢崎市民プールのあり方について 伊勢崎市民プールのあり方について事務局より説明。各委員から次のとおり意見が出され、今後の検討課題とされた。 (意見の概要) ・小中学生の水泳大会を地元で開催したいという市民からの声が上がっている。 →財政面、安全確保の観点から市民プールの再開は難しく、県営や他郡市施設、小中学校のプール、市内既存施設、等の有効活用を進めていくことを確認。 ・華蔵寺公園運動施設全体として駐車場が少ないので、市民プールの跡地を駐車場にすることもできるのではないか。

・敷島プールも群馬国体に向けて改装する予定があり、その期間は利用できないのではないかと。  
・競技基準に則った施設を県内でどれだけ確保できるかという事が国体の開催誘致にも関わってくる。  
・今後小中学校のプールを一般開放することを目指していくのはどうか。  
→小中学校のプール施設は老朽化等の問題は無く、施設面の観点からは利用が可能である。  
→危機管理の観点からも環境を整えていく必要がある。

#### (2) コロナ禍におけるスポーツイベントのあり方について

コロナ禍におけるスポーツイベントのあり方について事務局より説明。各委員から次のとおり意見が出され、今後の検討課題とされた。

##### (意見の概要)

- ・地域の大会は現状ほとんど開催できておらず、このまま開催できない状況が続いていくと、競技としてのモチベーションを保つことや、人と人とのつながりを育むという観点からみても不安である。
- ・オンラインでの大会開催も視野に入れていく必要がある。
- ・中学校連盟では応援の制限、各競技でのルール変更、ベンチメンバーの人数の縮小等の対策を行った上で大会を実施している状況である。
- ・運動会については競技の限定、来客者の制限、低中高学年毎の時間分け等を行った上で行っている状況である。
- ・今後の大会は中止にするのではなく、様々な工夫を取り入れながら可能な限りで開催をしていくべきだ。
- ・地域規模でのイベントは可能な限り行っていくべきだが、シティマラソン等の大規模で県内外の人が出入りするような大会の開催は難しいのではないかと。

#### 4 その他

- ・「教員の働き方改革」により2023年から段階的に部活動を地域に委託する件について、今後話し合う場を定期的に設けていくのはどうか。  
→部活動の外部委託については現在明確なことが決まっておらず教育委員会の問題でもあるため、一旦保留とした。

#### 5 閉会